

Project500

平成26年1月8日

プロジェクトリーダー 38年入学里井昌夫

① Project500とは

北海道大学漕艇部も創部65年を経て、その卒業生茨水会々員も744名の大所帯となりましたが、200名弱の会員の所在がつかめておらず、会費の納入率は3割程度と低い状態でした(2010年当時)。

このような状態では、現役に十分な支援ができないことから、2010年11月の茨水会理事会において10名のメンバーを中心に会費増収を目指してプロジェクトチームを発足しました。Project500の500は当面の目標として会費納入額500万円を意味します。会費増収の方法として、文書や会報による広報活動と、各学年幹事が直接会員に会費の納入をお願いする両面作戦をとっています。この3年間の成果としては、自動振込みによる納入者が増えたこと、若手OBの納入率が増えてきたことです。2020年東京オリンピックが決まり、ボートの競技レベルは高まることが予想されます。北大漕艇部がその波に乗り遅れないためには今後、多大な支援が必要なことから、このプロジェクトは更に強化せねばなりません。

② Projectメンバー

	氏名	入学年度	学年幹事担当範囲	
プロジェクトリーダー	里井昌夫	昭和38年	昭和36年-42年学年幹事担当	
メンバー	鈴木教生	昭和35年	昭和35年以上会員担当	
	江川 厚志	昭和47年	昭和43年-49年学年幹事担当	
	須田 善行	平成2年	平成1年-平成6年学年幹事	
	柏谷 匡胤	平成12年	平成12年-平成16年学生幹事担当	
	植村 泰雄	昭和51年	昭和50年-57年学生幹事担当	
	亀山 聖二	昭和60年	昭和58年-63年学生幹事担当	
	梶原靖久	平成10年	平成7年-平成12年学年幹事	
	井上涼子	平成元年	会計&平成女子会員担当	
	アドバイザー	大森 茂伸	昭和51年	昭和50年-57年学生幹事担当

③ 方針と目標

方針

事務局と学年幹事の連携を密にし機能的な活動が出来る組織とする。

目標

前年度会費納付者数を300名以上とする。(30%アップ)

④ 活動指針

- ・添付組織図に基づき事務局-学年幹事の連携を密にする。
- ・学年幹事同期の横のつながりを重視し、茨水会への要望、その他の種々の活動を通じ組織強化を図る。(名簿作成、会費納入など)
- ・学年幹事担当を決めTel、Mail、手紙などでアピールしてゆく。
- ・会員へのサービスなど検討する。(艇庫への宿泊、ボートの使用など)